

タオル織物関連技術情報データベース構築に関する調査研究

- タオル製品デザイン企画手法開発研究 (S45~) -

愛媛県産業技術研究所 繊維産業技術センター 主任研究員 石丸 祥司

当センターにおいて、研究開発等で蓄積されてきた各種資料（織物、染色加工のタオルサンプルなど）を、産地の商品企画および新商品開発への利用をめざし、電子データ化を行い、データベースを構築し、レファレンス室を整備しました。

1. タオル織物関連技術情報のデータ化

当センター発行機関誌「織産試ニュース」や研究成果製品の織物設計資料等の文献資料を収集し、電子データ化（PDF等）を行った。（2123点）

研究成果製品は、研究テーマ及び研究年度別に分類・整理（118点）し、タオル生地サンプルは、ファイリング（762点）を行った。【表1】また、研究成果製品とタオル生地サンプルはスキャナ入力によって画像データ化（880点）した。

研究成果製品とタオル生地サンプルの織物設計データをまとめたリスト（880点）を作成した。

2. データベースの構築

織物設計リストのうちデータの欠損が少ない資料（704点）を対象に、画像データと統合したデータベースの構築を行った。（Microsoft社製Excelを使用）

各種情報の表示や入力画面（メインメニュー、データ入力、データ検索、データ出力、ヘルプ画面など）をシンプルなレイアウトで構成し、分かりやすさと使い易い操作性を考慮した。

データの検索は、キーワードによる検索とICタグ【図1・2】による2つの検索方法を採用した。ICタグは、ファイリングしたタオル生地サンプルに添付し、リーダライタに近づけることにより、その画像データ及び織物設計データを迅速にパソコン画面に表示することができる。【図3】は、検索結果と表示画面と印刷されたデータ例である。

表1 データベースの対象データ

区分	織物設計データ欠損状況	サンプル数	データベース化
タオル生地サンプル	完全に記入	479	
	1~2項目欠損	107	
	数項目記入	176	x
小計		762	
研究成果製品	完全に記入	118	
合計		880	704



図1 ファイルに添付したICタグ



図2 ICタグ（左）とリーダライタ（右）

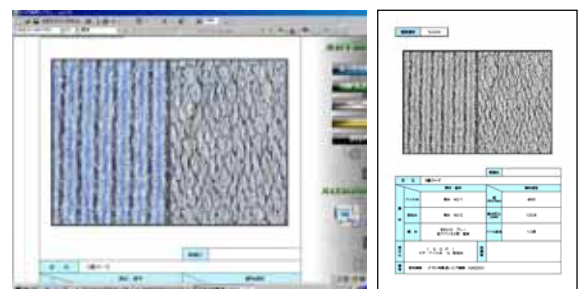


図3 検索結果表示画面（左）と印刷（右）

平成20年度に完成していた一部資料（織物設計データ、ファイリングしたタオル生地サンプルなど）は、レファレンス室にて試験的に運用した結果、産地企業のオリジナル商品開発に活用されている。今後、サンプルに関連する文献データとリンクさせるなど、さらにデータベースの充実を図っていきたい。